

南あわじ市就農・定着応援プラン（露地野菜）

作成年月日 令和7年7月1日
(改訂年月日 年 月 日)

チーム名

南あわじ市就農支援連絡協議会

市の概要

南あわじ市はこのような地域です

1 位置

南あわじ市は、南北に長い地形の淡路島の南部に位置し、兵庫県域の約 2.7%を占めています。南部と西部はそれぞれ紀伊水道、播磨灘に面し、北部の先山山地、南東部の諭鶴羽山地、西の南辺寺山塊に囲まれ、中央部には三原平野が広がっています。また、紀伊水道には、周囲約 10 キロメートル、人口約 400 人の沼島が浮かんでいます。

2 人口

約 43,300 人

3 気候

冬季温暖で年間を通じて降水量の少ない瀬戸内海気候に属し、過去 10 年間の年平均気温は 16.6℃と温暖で、年間降水量は 1,222mm

となっています。降水量の少なさからしばしば水不足を招き、古来からため池の築造、近代以降はダム建設が進められてきましたが、明石海峡大橋の開通に伴い本土導水が実現しました。

4 観光

① 淡路ファームパーク イングランドの丘

湖と美しい緑に囲まれ自然とふれあえるイングリッドエリアでは、羊とのふれあいや、野菜の収穫体験が楽しめます。ロックガーデンや大温室など世界の花が咲き誇るグリーンヒルエリアでは、世界のウサギと出会えるラビットワーレンや人気者のコアウなどかわいい動物に出会えます。

② 慶野松原

古くは万葉集にも詠まれ風光明媚で知られる景勝地です。数万本の松林に囲まれた 2.5 kmに及ぶ美しい砂浜は、「日本の渚百選」「快水浴場百選 特選」「日本の夕陽百選」に選ばれています。

③ 灘黒岩水仙郷

島の南部に位置する標高 608mの諭鶴羽山から海に続く 45 度の急傾斜地に、1ha にわたる 60 万本もの水仙の群生が咲き誇り、12 月下旬から 2 月下旬にかけて白い花と甘い香りで包まれます。

地図



南あわじ市ではこのような農業をしています

1 主要産品

南あわじ市は、夏には水田風景が広がり、秋にはその水田がたまねぎやレタス、はくさいなどの畑となり、ほぼ1年を通して農業ができる非常に魅力的な農業地帯です。

- たまねぎ

淡路島といえば「たまねぎ」。淡路島のたまねぎは柔らかく、甘みが

強いのが特徴で、“淡路島たまねぎ”としてブランド化されています。
また、南あわじ地域における水稻・たまねぎ・畜産の生産循環システムは日本農業遺産に登録されています。

- レタス

良質のたい肥を用いて作られた肥沃な土と温暖な気候の下で育ったレタスは、大変みずみずしく、シャキッとした食感になります。

また農薬の使用量を減らして、安全安心なレタスを提供するために、黄色灯を用いて害虫が近づくのを防ぐなど様々な試みが行われています。

- キャベツ

南あわじ市では夏の暑い時期を除いて、ほぼ1年中収穫されています。淡路島オリジナル品種である春キャベツの「みはらの春」は甘くて柔らかく、とくにおすすめです。

2 収入の目安

経営内容にもよるため一概には言えませんが、経営体別の一例を紹介します。

- 認定農業者

栽培品目 水稻、たまねぎ、レタス、はくさい、ブロッコリー

経営面積 のべ 400a

農業収入 1,010 万円

- 兼業農家

栽培品目 水稻、たまねぎ、はくさい、サニーレタス、ブロッコリー

経営面積 のべ 90a

農業収入 220 万円

あわじ島農業協同組合（2024）第 13 次地域営農振興計画書より

若手就農者の声

- 伊東さん

私は高校卒業後淡路島の大学に入学することになり淡路島に移り住みました。入学直前まで家が決まっておらず、相談したところ八木馬回の空き家で大学生のシェアハウスをしてみないかと誘われ、淡路島での大学生活をはじめました。

自然豊かな場所でたけのこ掘りや農業体験、地域の行事の参加など、いろいろな経験をさせてもらいました。



失敗や課題が見える農業はおもしろく、お米作りから始まった農業体験は、大学4年生に上がる頃には就活を忘れるほど熱中し、卒業後も農業をしたいと思い新規就農をしました。

新規就農をするにあたっては、大学時代からお世話になっている馬回地域の方々が快く受け入れてくださり応援してくださったお陰で大変な思いをすることなく就農できたと感じています。

今後は野菜作りだけではなく八木馬回という土地を活かした事に挑戦し、地域貢献にもつながるような事をしたいと考えています。

- 藤本さん

私は就農前までは大阪で印刷会社の営業職をしていました。

しかし、誰かが企画し作ったものを紹介し、お客様に販売するだけで、あまり仕事に面白みが見出せないでいました。

そこで、「以前から興味のあった食に関する仕事」「自分が作ったものを自分で売りたい」という2点から、就農する事を決心しました。

現在は南あわじ市内の6件の親方の元で研修を重ねながら、自分の引き



出しを増やすために、皆さんから色々な知識や経験談をインプットして
いています。

今後は研修で得た知識とスキルをフル活用し、自身でも南あわじ市の
特産であるたまねぎの栽培と、これから農業を始めたいと思っている
方々のお手本となるような農業経営者になるのが目標です。

農業は体力的にも大変な事は多いですが、本当にやりがいのある仕事
だと思います。そして、農業は一人で完結するものではなく、地域の皆
さんと共に守っていくものだと感じています。「その地域で農業をさせて
いただいている」いつまでもその気持ちは持ち続けながら新しいことに
も挑戦していきます。

求める新規就農者

南あわじ市では、以下のプロセスを完遂し、また、南あわ
じ市特産の淡路島たまねぎやあわじ島レタス等の生産現場
で活躍できる方を求めています。

1 なぜ南あわじ市？

あなたが「南あわじ市で」農業を始めたいと考えたきっかけは何で
すか？農業を始めたい理由、そして、南あわじ市でなければならない
理由を明確にしましょう。

2 情報収集とイメージづくり

農業を始めるには、

- ☐ なぜ農業をやりたいのか
- ☐ どの地域でどんな農業をやりたいのか
- ☐ 住居はどうするのか
- ☐ 農地や農業用機械・施設はどうするのか
- ☐ 必要な資金は十分確保できているか
- ☐ 家族の同意は得ているか

等多くの検討事項があります。

まずは、ひょうご就農支援センターのホームページのチェックや、新規就農関係の相談会に参加する等して情報収集をしたうえで、目指す農業経営のビジョンをイメージしましょう。

3 就農相談

目指す農業経営のビジョンが見えたら、就農相談会（月1回・予約制）に参加いただき、農業経営のビジョンをより明確化するとともに、具体的な制度等の情報を集めましょう。



就農相談会

4 研修、農業体験、インターンシップ

農業生産や経営の基本的な知識を習得するために、研修に参加する

とともに、

- ☐ 農家として生活していくための適性はあるか
- ☐ 農作業に従事するための体力はあるか
- ☐ 目指す農業経営のビジョンを実現できるか
- ☐ 地域の人々や生活様式との相性は良いか

5 雇用就農

インターンシップ等を通じて就農するための本格的な準備ができた
ら、親方農家のもとに雇用就農します。賃金を得ながら、親方農家か
ら農業のノウハウを取得するとともに、地域の農業者との交流を深め
ます。

6 独立就農

2～3年程度の雇用期間を経て、農業に関する知識や技術を向上さ
せたのち、いよいよ独立就農となります。独立就農後は、次世代を雇
用できる受け皿となれるよう、経営規模の拡大等を目指していただい
ければと考えています。

就農者への支援

1 親方農家の紹介（南淡路農業改良普及センター）

就農相談会に参加いただき、就農希望者の情報を得たら、就農希望

者に合った親方農家を紹介します。

2 各種補助事業活用に向けたサポート（南あわじ市農林振興課）

独立就農後は、経営開始資金などの活用に向けサポートを実施しています。

3 栽培の指導（あわじ島農業協同組合、南淡路農業改良普及センター）

独立就農後、病気や生育状況に不安があれば、あわじ島農業協同組合の営農指導員や南淡路農業改良普及センター職員から助言を受けることができます。

南あわじ市での農地探しや農業用機械の確保

・ 農地

雇用期間中にその地域で農地を探すことをお勧めします。南あわじ市農業委員会の農地バンクを活用することも可能です。

・ 農業用機械・施設

地域計画が策定されている集落であれば、地域で活用されていない農業用機械や施設を新規就農者に貸し出すのに必要な経費の一部を集落に助成しています。

親方農家

- Top Field

南あわじ市倭文長田地区でレタスやたまねぎ、お米の栽培を行う農家。近畿エリアの中卸業者やスーパーを中心に販売しながら、新規就農者へ農業を率先して行っています。



Top Field では、島民以外に向けた独自の「就農・定着応援プラン」を考案し、実践しています。就農希望者のゴールは社員になるか、独立して自営就農を目指すかのどちらか。「生産スキル」と「経営スキル」を5年という月日をかけてじっくり経験しながら学べるのが最大の特徴です。

- 株式会社アクアヴェルデ AWAJI

2016年に設立された、市三條地区の「就農・定着応援プラン」を推進する親方農家。たまねぎや白菜の露地野菜と、南あわじ市内では珍しいミニトマトの施設園芸、水稻を組み合わせた「ハイブリッド農業」を行っています。

株式会社アクアヴェルデ
AWAJI では露地野菜と
施設園芸を同時に学ぶこ
とが可能です。若手就農
者の藤本さんも当法人で
学んでいます。



その他の支援

1 住まいの支援があります

- 本格的な移住の前に、南あわじ市での実際の暮らしを体験できる、おためし移住制度があります。（初期費用上限 20 万円、引越費用上限5万円、一ヶ月分のレンタカー費用上限5万円）
- 淡路島外からの南あわじ市への移住に際し、市内でマイホームを取得した方に対しても、補助制度があります。（新築・建売住宅：上限 200 万円、中古住宅：上限 100 万円。加算措置として、中学生以下の子ども1人につき 30 万円）
- その他移住に関する情報は、南あわじ市移住支援サイト「住みニコ」をぜひご確認ください。



住みニコ

2 医療サービスも充実しています

- 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、南あわじ市では0歳から高校3年生までは無料で医療を受けることができます。(保護者の所得要件あり)

3 子育てに手厚い支援があります

- お子さんが、高校を卒業されるまでの間、保護者の方に児童手当が支給されます。(保護者の所得要件はありません)

対象区分	支給額
3歳未満（第1子・第2子）	月額 15,000 円
3歳～18歳年度末まで（第1子・第2子）	月額 10,000 円
0歳～18歳年度末まで（第3子以降）	月額 30,000 円

- 小学校等入学時に入学祝金を支給します。(対象者：小学校・特別支援学校に入学する児童の保護者の方、支給額：児童1人につき1万円)
- 18歳未満の子育て家庭に「ゆめるんカード」を発行します。市内協賛店にカードを提示すると、様々な特典を受けることができます。

南あわじ市の風景など



南あわじ市の田園風景



兵庫県最大級産直市場「美菜恋来屋」



灘黒岩水仙郷



伝統的なたまねぎ小屋

南あわじ市での就農に興味を持った方はこちらにご連絡
ください

- 応援チームの連絡窓口

南あわじ市農林振興課にお電話ください。（担当：多田）

電 話 0799-43-5223

メール nourin@city.minamiawaji.hyogo.jp

（参考）南あわじ市HP

<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/nourin/shinki-shuno.html>

役割分担

あわじ島農業 協同組合	・営農指導 ・融資の相談
南淡路農業改 良普及センタ ー	・技術指導 ・農業支援制度（県）の情報提供、調整 ・親方農家の紹介 ・融資の相談
南あわじ市	・農業支援制度、移住支援制度の情報提供、調整 ・応援チームの事務局